

地域連携だより

令和7年4月号 NO.26



診療科のご案内 - 耳鼻いんこう科 -

耳鼻いんこう科は現在、常勤医2名・非常勤医1名にて診療にあたっています。鼻の症例においては、鼻中隔弯曲の手術や、副鼻腔の内視鏡手術を中心に治療を行っていますが、多くの副鼻腔手術症例ではナビゲーションシステムを使用し、より安全かつ正確な手術を行っています。

耳の症例においては、専門性が高いものは大学病院へ紹介となる場合もありますが、多くの症例は当院で対応可能です。



【主な疾患】

● 慢性副鼻腔炎

鼻の奥にある副鼻腔という部屋における病気で、鼻閉、鼻汁、後鼻漏、頭痛、嗅覚障害などの症状を引き起こします。薬による治療が一般的ですが、薬で改善しない場合は内視鏡での手術を行います。副鼻腔は眼窩（眼球付近）、頭蓋底（脳との境界部分）と隣接している場所でもあり、当科ではナビゲーションシステムを用いて安全、確実に手術操作を行う対応をしております。

● 口蓋扁桃肥大・慢性扁桃炎

口蓋扁桃が肥大すると、いびき・呼吸障害・日中の眠気・集中力低下・食べ物が飲み込みにくい等の症状が出現し、小児では睡眠・呼吸の障害により心身の成長に障害が出る恐れがあるため手術適応となる場合があります。

また口蓋扁桃は慢性炎症を来しやすい臓器であり、慢性炎症（慢性扁桃炎）の状態では、ストレス等の免疫力の低下により炎症が進行し、発熱・咽頭痛・咽頭違和感等を繰り返しやすくなります。治療は抗生素や消炎鎮痛剤を投与しますが、炎症を繰り返す場合は手術を行うことも可能です。

● めまい

めまいは日常でよくみられる病気のひとつです。めまいが起こると多くの方は脳の病気を心配されますが、実はめまいの60%は耳の中に原因があるといわれています。代表的な病気として、良性発作性頭位めまい症、メニエール病、前庭神経炎、突発性難聴に伴うめまいなどがあります。原因にあった治療を行うために、問診・診察に加え、眼振検査、聴力検査などを行い診断します。

共同診療をご利用ください

当院では、ご紹介いただいた患者さんの継続性・一貫性のある医療の提供と地域連携推進の観点から共同診療を実施しております。

共同診療では、入院中の患者さんの状態について、当院主治医から検査結果などをもとに、現在の状況を正確に連携医に伝えることで、退院後の診療を円滑に進めることができます。患者さんも入院中、共同診療受診により日頃お世話になっている先生のお顔を見ると大変安心されるようで、大変有意義な制度として高く評価をいただいております。

なお、令和7年4月から、共同診療を行うためには指定された開放型病床で実施することが要件となりました。このため、当院の病床稼働状況により、共同診療の実施希望に添えない場合がありますので、あらかじめご理解とご協力をお願い申し上げます。

登録医の登録情報の変更等がありましたら一報ください

現在、当院では、地域連携登録医ご登録の際に提出していただいた医療機関調査をもとに登録医紹介カードを作成し、院内への掲示やホームページに掲載するなど、利用者に向けた地域医療機関の情報発信に努めています。

診療時間の変更や掲載写真等の追加のほか、医師の新規登録や退職など、登録情報に変更等がありましたら、患者サポートセンターまでご連絡ください。

当院主催の講演会・研修会にご参加ください



当院では、地域医療機関の皆様との連携強化と医療の質の向上を図るため、地域の医療従事者向けに講演会や研修会等を開催しています。

年間開催予定表をはじめ、講演会・研修会等は、開催時期や内容が決まり次第、当院ホームページにて随時更新・紹介しています。ご確認のうえ、ぜひご参加ください。

発行：豊川市民病院 患者サポートセンター

〒 442-8561 豊川市八幡町野路 23 番地
電話 0533-86-1111[代表] 0533-89-5825[病診連携室]
※ 休診日：土・日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
※ 名鉄豊川線「八幡」駅下車すぐ。
※ 「豊川市コミュニティバス」「豊鉄バス」の乗り入れ有り。

